

21世紀COE「京都大学化学連携研究教育拠点」講演会開催報告書

化学研究所 時任宣博，小澤文幸，川端猛夫，中村正治，村田靖次郎

講演会名：化学研究所・有機化学セミナー

講演題目：The nature of the chemical bond in linear three-body systems: from I₃⁻ to mixed chalcogen/halogen and trichalcogen moieties.

(直線型三原子体における化学結合の本質：トリヨードイオンからカルコゲン／ハロゲン混合体、トリカルコゲン体まで)

講師：Prof. Francesco A. Devillanova (Dipartimento di Chimica Inorganica ed Analitica, Univerdita' degli Studi di Cagliari, Italy)

日程：2006年10月4日（水）15:00 –16:30

場所：化学研究所 新4階セミナー室（C-469）

主な参加者：化学研究所在籍大学院生・教官

総参加者概数：30名

講演内容：

F. A. Devillanova教授は、硫黄・セレン・ハロゲン元素などのヘテロ原子化学の専門家であり、幅広い研究分野に貢献している研究者である。特に最近ではカルコゲン元素と、遷移金属あるいはハロゲン元素間でのドナー／アクセプター相互作用の研究で成果をあげている。

今回の講演では、カルコゲン、ハロゲン原子の高配位化学種に関して、実験化学、理論化学の両面から最新の研究成果が紹介された。

講演後の質疑応答も活発に行われ、意義深い学術講演会となった。